



野菜の需給・価格動向レポート(平成25年1月8日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		12月の価格動向				生育及び価格の1月の見通し		
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額					
			上旬	中旬	下旬			
葉 茎 菜	<div>キャベツ</div>	66.3	57	78	85	・入荷見込量：13,234(100) ・主産地：愛知(53)、千葉(25)、神奈川(15)	・愛知産は、順調な出荷で前年より多めの出荷となっているものの、最近の低温と少雨の影響により今後は出荷量が減少する見込み。千葉産は、最近の低温の影響で生育が停滞し小玉傾向で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		69.92	54	76	78	・入荷見込量：3,600t(104) ・主産地：愛知(50)、大阪(10)、和歌山(9)、佐賀(7)、三重(6)、兵庫(6)、鹿児島(6)		
	<div>ねぎ</div>	218.22	240	244	268	・入荷見込数量：5,029t(98) ・主産地：千葉(35)、埼玉(25)、茨城(17)、群馬(11)、輸入(3)	・千葉産は、細物中心で平年より少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。埼玉産は、低温のために生育が遅れていたが、中旬より出荷量が増加する見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		314.62	321	364	420	・入荷見込数量：580t(80) ・主産地：群馬(26)、鳥取(20)、埼玉(16)、静岡(11)、大分(9)		
	<div>はくさい</div>	36.65	37	46	51	・入荷見込量：13,303t(100) ・主産地：茨城(84)、群馬(9)	・茨城産は、最近の低温の影響により生育が停滞し小玉傾向で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年をやや上回って推移する見込み。	
		53.29	56	62	66	・入荷見込量：4,100t(105) ・主産地：愛知(32)、茨城(22)、宮崎(13)、和歌山(11)、岡山(7)、熊本(6)		
	<div>ほうれんそう</div>	350.1	584	631	653	・入荷見込量：1,315t(101) ・主産地：群馬(35)、千葉(19)、茨城(19)、埼玉(17)	・群馬産は、年明け後の天候に恵まれたことにより出荷量が増加し、今後は平年を上回る出荷となる見込み。千葉産は、最近の低温の影響で少なめの出荷となり、今後も少なめの見込み。茨城産及び埼玉産は、生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷量の増加が見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は、落ち着いてくるものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		416.76	576	652	570	・入荷見込量：550t(110) ・主産地：徳島(47)、福岡(26)、群馬(15)		
	<div>レタス</div>	233.85	249	362	357	・入荷見込量：6,854t(96) ・主産地：静岡(36)、香川(15)、兵庫(13)、熊本(8)、千葉(6)、福岡(4)	・静岡県産は、低温の影響で小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も月末までは少なめの出荷の見込み。香川産も、小玉傾向の出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。兵庫産は、遅れていたものと通常の作型のものの出荷が重なったことで平年並みの出荷となっているものの、中旬からは減少する見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		226.75	252	331	346	・入荷見込量：1,050t(109) ・主産地：兵庫(58)、徳島(22)、香川(8)、熊本(6)		
	<div>たまねぎ</div>	76.15	65	67	68	・入荷見込量：9,407t(105) ・主産地：北海道(87)、輸入(9)	・北海道産は、作柄良好で前年を上回る出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		76.15	70	73	77	・入荷見込量：3,600t(106) ・主産地：北海道(60)、兵庫(34)		
果 菜	<div>きゅうり</div>	370.98	484	507	506	・入荷見込量：4,915t(100) ・主産地：宮崎(40)、高知(21)、千葉(20)、茨城(6)、埼玉(6)	・宮崎産は、多めの出荷となっているものの、中旬以降は減少し平年並みの出荷となる見込み。高知産は、最近の低温、降雪の影響により少なめの出荷となっており、今後はやや増加するものの前年には届かない見込み。千葉産は、少なめの出荷の見込み。 ・高知産及び千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		350.33	466	491	490	・入荷見込量：1,100t(107) ・主産地：宮崎(47)、高知(22)、徳島(20)、愛媛(7)		
	<div>トマト</div>	332.69	482	478	473	・入荷見込量：4,625t(100) ・主産地：熊本(43)、愛知(19)、栃木(11)、静岡(6)、千葉(5)、宮崎(4)	・熊本産は、低温の影響で生育に遅れはあるものの、平年並みの出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。愛知産も、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		311.06	453	457	448	・入荷見込量：890t(105) ・主産地：熊本(63)、愛知(12)、福岡(10)		
	<div>なす</div>	389.03	433	449	441	・入荷見込量：1,883t(100) ・主産地：高知(64)、福岡(18)、佐賀(6)	・高知産は、最近の低温、降雪の影響で生育が鈍っているが、今後は天候の回復とともに生育が回復する見込み。福岡産も、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・高知産の出荷量の回復が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		397.74	447	450	462	・入荷見込量：290t(104) ・主産地：高知(38)、熊本(29)、福岡(15)、岡山(13)		
	<div>ピーマン</div>	344.39	312	506	549	・入荷見込量：1,223t(100) ・主産地：宮崎(46)、高知(24)、鹿児島(18)、茨城(12)	・宮崎産は、多めの出荷となっているものの、中旬以降は減少し平年並みの出荷となる見込み。高知産は、平年並みの出荷の見込み。鹿児島産は、天候の回復により、中旬から出荷量が増加する見込み。茨城産は、出荷量が少ない時期であるが、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回って推移している価格は、平年並みに近づく見込み。	
		353.61	305	486	533	・入荷見込量：300t(100) ・主産地：宮崎(65)、高知(23)、鹿児島(9)		
根 菜	<div>だいこん</div>	64.33	64	72	90	・入荷見込量：12,213t(100) ・主産地：神奈川(57)、千葉(36)	・神奈川産は、低温の影響で生育が停滞し細物中心となり、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。千葉産は、低温の影響で生育が停滞し、少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		76.48	68	77	92	・入荷見込量：3,300t(100) ・主産地：長崎(31)、鹿児島(27)、徳島(20)、和歌山(17)		
	<div>にんじん</div>	100.82	105	111	130	・入荷見込量：6,434t(95) ・主産地：千葉(83)、埼玉(10)、茨城(4)、輸入(2)		・千葉産は、低温の影響で生育が停滞し小ぶりで少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。埼玉産も、少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		104.49	98	115	164	・入荷見込量：2,000t(100) ・主産地：長崎(39)、鹿児島(24)、千葉(15)、鳥取(13)		

種類		12月の価格動向				生育及び価格の1月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
い も		200.88	210	246	257	・入荷見込量：793t (100) ・主産地：埼玉 (42)、千葉 (25)、輸入 (10) ・埼玉産及び千葉産は、平年並みの出荷の見込み。 ・年末需要も落ち着いた順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		207.2	199	212	254	
		88.17	86	89	92	・入荷見込量：9,021t (105) ・主産地：北海道 (63)、長崎 (26) ・北海道産は、引き続き安定した出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。長崎産は、順調な生育で大玉傾向となり、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		88.17	84	86	90	

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、11月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5,039gで前年比99%、購入金額は、1,602円で同99%となり、購入数量、購入金額ともに前年並みだった。
また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は、119円で過去5か年平均比78%、レタスは、591円で同131%となり、キャベツは過去5か年平均を大幅に下回り、レタスは大幅に上回った。

生鮮野菜の購入数量及び金額（1人当たりの購入数量と金額）

年	過去5か年平均		平成23年		平成24年			
	購入数量 (g)	金額 (円)	購入数量 (g)	金額 (円)	購入数量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	4,386	101	1,675	95
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	4,245	97	1,618	94
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	4,916	107	1,703	94
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	5,242	104	1,761	93
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	5,039	99	1,602	99
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

主要野菜の月別小売価格（東京都区部）の推移
(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	247	140	508	691	136
3月	188	238	126	461	692	150
4月	238	262	110	462	513	111
5月	172	196	114	380	409	108
6月	144	127	88	350	305	87
7月	160	119	75	324	292	90
8月	156	111	71	463	296	64
9月	155	101	65	562	307	55
10月	161	101	63	505	325	64
11月	162	103	64	371	382	103
12月	153	119	78	453	591	131

1) 過去5か年は平成19～23年の平均。
2) 平成24年12月の値は、12月中旬の速報値。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

1) 過去5か年は平成19～23年の平均。
2) 平成24年12月の値は、12月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

11月の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年比92%の6万3千トン、加工野菜は、同111%の17万4千トン、野菜全体では、同105%の23万7千トン、うち中国産は、同103%の12万4千トンとなった。生鮮野菜は前年をかなり下回ったが、加工野菜がかなり上回ったことから、野菜全体ではやや上回った。

野菜の輸入数量の推移
(単位：トン、%)

区分	平成22年		平成23年		平成24年1～11月		平成24年11月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	874,650	105	63,378	92
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	1,742,425	107	173,954	111
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	2,617,075	106	237,332	105
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	1,333,052	105	124,097	103
中国産シェア	51		52		51		52	

主な野菜の輸入動向
(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成23年11月(A)	平成24年11月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	32,663	23,685	73
	中国	22,292	18,150	81
	アメリカ	10,371	5,534	53
にんじん	合計	3,912	4,524	116
	中国	3,780	4,325	114
	オーストラリア	96	164	171
ねぎ	合計	3,465	4,178	121
	中国	3,463	4,167	120

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年11月は、速報値である。

4 トピック ― おせち料理等に使われている主な野菜の自給率について―

皆さんは、お正月に何を食べて
でしょうか。お正月の伝統的な料
理は、おせち料理とお雑煮。おせ
ち料理の献立等は、縁起をかつ
ぎ、食する由来や意味が込められ
ている。また、この時期の代表的
な野菜料理のひとつである煮しめ
は、栄養のバランスの点からも重
要である。

ところで、このように伝統的な
料理であるおせち料理等に使われ
ている野菜についても、輸入物が
一定の地位を占めているものが多い。

おせち料理等に使われている主
な野菜7品目について、平成23年の
自給率（重量）を見ると、だいこ
んは98%と非常に高い自給率と
なっており、ほとんど国産のだい
こんが使われていることが分か
る。残りの6品目では、ねぎ、ほう
れんそう、にんじん及びれんこん
が90%前後と比較的自給率の高い
ものの、さといもやごぼうは80%
に満たない状況となっている。

一方、過去20年間の自給率の推
移を見ると、

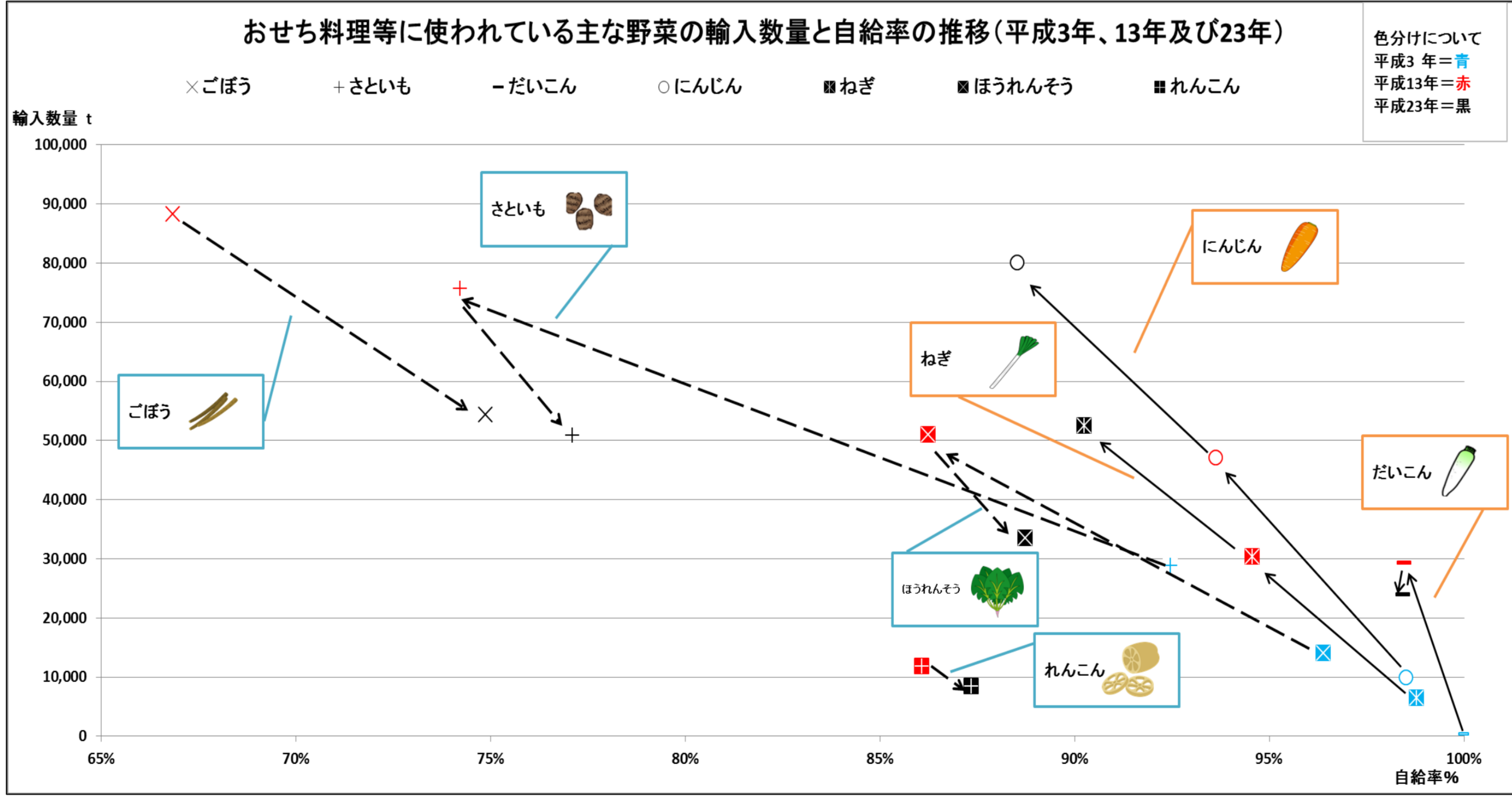
① にんじん、ねぎ及びだいこ
んのように、自給率が減少傾向であ
るものと、

② ごぼう、さといも及びほうれ
んそうのように、輸入量が多く、
自給率が低下していたものの、そ
の後、自給率の回復が見られるもの
に大きく分けることができる。

このうち②は、加工・業務用の
大部分を中国からの輸入物が占め
ているが、国内の需要が減少する
中で、残留農薬等の問題や冷凍餃
子事件を契機に輸入が減少したこ
とが、自給率の回復に寄与したも
のと考えられる。

おせち料理等に使われている主な野菜の輸入数量と自給率の推移(平成3年、13年及び23年)

色分けについて
平成3年＝青
平成13年＝赤
平成23年＝黒



資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」、農林水産省「野菜生産出荷統計」

おせち料理等に使われている主な野菜と由来等について

献立	使われている野菜	由来、意味
たたきごぼう	ごぼう	形や色が、豊作のときに飛んでくると伝えられる黒い瑞鳥を連想させることから、豊作を願って食べられる。ごぼうは、地中に深く根を張ることから、家の基礎がしっかりとるようにとの願いが込められている。
きんぴらごぼう	ごぼう、にんじん	怪力無双の豪傑の坂田金平にちなんで、強さや丈夫さの願いが込められている。ごぼうは地中に深く根を張ることから、家の基礎がしっかりとるようにとの願いが込められている。
煮しめ	さといも、れんこん	さといもは、土の中に子孫をたくさんつけることから、子だくさんの象徴とされ、子孫繁栄を祈って食べられる。穴が多数空いているれんこんは、将来の見通しがきくという縁起かつぎ。「将来を見通せるように」という願いが込められている。
紅白なます	だいこん、にんじん	お祝いの水引をかたどったもの。紅白は、おめでたいものの象徴として使われる。
酢蓮	れんこん	穴が多数空いているれんこんは、将来の見通しがきくという縁起かつぎ。「将来を見通せるように」という願いが込められている。
雑煮	ほうれんそう、ねぎ	雑煮は、餅を主体にいろんな具材をあしらった汁料理で、旧年の収穫や無事に感謝し、新年の豊作や家内安全を祈って食べられる。地方によって具材が違うが、ほうれんそうやねぎは、一般的具材として用いられる。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。